

「成人先天性心疾患におけるマグネティックナビゲーションシステムの有用性」について

加古川中央市民病院循環器内科では、現在、入院および外来通院患者さんのうち（対象疾患名）の患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記の通りになっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

成人先天性心疾患に合併する頻脈性不整脈は、心不全、失神発作（意識消失）、突然死などの原因となりうる、その治療手段であるカテーテルアブレーションは、心血管系の奇形の存在によって困難であることがある。当院では本邦 2 台目となるマグネティックナビゲーションシステムを用いたカテーテルアブレーションを行っているが、その有効性及び安全性について検討することで、これまで治療が難しかった患者さんに対しても新たな治療の選択肢を示すことができると考えられる。

【研究期間】

研究期間： 院長承認日～2020年 9月 30日

研究対象期間： 2016年 7月 1日～2019年 3月 31日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

成人先天性心疾患に伴う頻脈性不整脈に対して、マグネティックナビゲーションシステムを用いてカテーテルアブレーションを行った 6 症例の年齢、性別、病名、手術名、アブレーションの術中所見、アブレーションに伴う合併症の有無、術後経過について検討します。

【個人情報保護の方法】

研究期間中、患者さんの個人情報厳重に守られるようにして研究は進められます。患者さんのカルテから収集させて頂いた資料（データ）は期間中、匿名化した状態で加古川中央市民病院で厳重に管理致します。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：この研究に参加いただくことで直接患者さんに利益が生じる事はありませんが、この研究の成果によって、心血管奇形を伴う通常的手法では治療困難な不整脈患者さんにとって有効な治療法の選択肢を示しやすくなる可能性が期待されます。

不利益：この研究では、患者さんのカルテから診療情報を収集させて頂くのみですので、患者さんに不利益が生じることはございません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

研究終了後には、データは患者さんを特定できない状態にして廃棄します。

【研究成果の公表について】

研究成果は学術目的のため学会や論文で公表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報の秘密は厳重にまもられますので、第 3 者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。データを本研究に用いたくない場合には、下記「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。取りやめの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータは本研究に用いられることはありません。しかしながら同意を取り消したとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように廃棄できない場合もあります。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 循環器内科
研究責任者名 岡嶋 克則
連絡先：079-451-5500